

岐阜県の地震環境を理解する

～迫り来る南海トラフ巨大地震による被害をどこまで防げるのか～

岐阜県における被害地震の歴史を概観し、そのうえで逼迫性の極めて高い南海トラフの巨大地震による岐阜県域に特徴的な被害の様相について示します。そして、被害を如何にして小さくできるのかについて考えてみましょう。また、本年4月1日に岐阜県と岐阜大学が共同設置した「清流の国ぎふ 防災・減災センター」の事業内容について説明致します。



すぎと まさた
講師 杉戸 真太氏 (名古屋生まれ)

「役に立つ地震工学」を常に意識して教育・研究活動を行っている。地元岐阜県や、東海地域の各自治体における地震被害想定調査に加わり、住民に配布された震度マップ作成にも従事している。とくに最近では、海溝型巨大地震による強震動の継続時間が非常に長いことに起因する様々な災害形態について事前に正確に把握し、効果的な減災対策の実施に繋げる努力をしている。

● 学 歴

1976年 京都大学工学部土木工学科 卒業
1978年 京都大学大学院工学研究科 土木工学専攻 修了
[1989.2. ~ 1989.12. 在外研究員 (スタンフォード大学)]

● 職 歴

1978年 京都大学 助手 工学部
1994年 岐阜大学 助教授 工学部
1997年 岐阜大学 教授 工学部
2002年 岐阜大学流域圏科学研究センター長、評議員
2006年 岐阜大学産官学融合センター長
2008年 岐阜大学 副学長 (外部資金戦略担当)
2010年 岐阜大学 理事・副学長 (財務担当)
2014年 岐阜大学 理事・副学長 (企画・評価・基金担当)

● 委員会活動等

- ・岐阜県東海地震等対策検討協議会 会長
- ・岐阜県東海地震等地震被害想定調査委員会 委員長
- ・地盤工学会中部支部 支部長
- ・地盤工学会中部支部 中部総合地震防災システム研究委員会 委員長
- ・岐阜県活断層調査委員会 委員
- ・土木学会地震工学委員会 小委員会 委員長
- ・東海農政局大規模地震対策評価委員会 委員
- ・岐阜県震災対策検証委員会 委員長
- ・岐阜県事業評価監視委員会 委員長
- ・岐阜県防災会議 委員
- ・清流の国ぎふ 防災・減災センター長、他

● 受賞等

- ・土木学会論文奨励賞 (1988) ・岐阜新聞大賞 (2008)

日時 平成27年
12月12日(土)
13:30 ~ 15:30

定員 200名 (要申込)
参加費無料

放送大学岐阜学習センター 申込
TEL:058-273-9614 (9:00~17:30月・祝除く)

会場 ふれあい福寿会館
第2棟3階講堂 (岐阜市藪田南5-14-53)

● 交通案内・駐車場案内

● JR岐阜駅・名鉄岐阜駅から岐阜バスで約20分



◆放送大学説明会を開催いたします◆

平成27年12月12日(土) 10:30 ~ 11:30 ふれあい福寿会館 第2棟6階6B研修室 (予約不要)